

## 第21回技術情報検討会議事概要

1. 日 時:平成28年10月19日(水) 15:00~16:40

2. 場 所:原子力規制委員会13階 会議室 B

3. 出席者:

原子力規制委員会

更田委員

原子力規制庁

安井技術総括審議官、櫻田原子力規制部長、大村緊急事態対策監、山田審議官、青木審議官、山形原子炉規制総括官、市村安全規制管理官(PWR)、澤田安全規制管理官(発電炉検査)、黒村安全規制管理官(新型炉・試験研究炉・廃止措置)、片岡安全規制管理官(再処理・加工・使用)、青木安全規制管理官(廃棄物・貯蔵・輸送)、倉崎技術基盤課長、鬼沢安全技術管理官(システム安全)、梶本安全技術管理官(シビアアクシデント)、内田安全技術管理官(核燃料廃棄物)、小林企画官(地震・津波)、平野地域連携推進官(国際室)、

永井品質管理専門官、二宮品質管理専門官、忠内管理官補佐、小野係長、菊川原子力保安検査官、藤田(雅)技術研究調査官、安池専門職、飯島首席技術研究調査官、瀧田首席技術研究調査官、迎企画調整官、市川課長補佐、上田係員、穂藤係員、岩澤課長補佐、志間安全規制調整官

日本原子力研究開発機構

中塚規制情報分析室技術主幹

事務局

荒木原子力規制企画課長、石井企画官、根塚課長補佐、小林課長補佐、帯刀課長補佐

4. 議題: (1)【審議】火山灰濃度に関する新知見について  
(2)【審議】気象庁における藤田スケールの見直し及びその対応について  
(3)【審議】「地磁気変動のスタンダード発行」の対応状況と今後の対応方針について  
(4)【報告】志賀原子力発電所における原子炉建屋内への雨水流入について  
(5)その他

5. 議事要旨

- (1)事務局より、「国内外の事故トラブル情報及び海外の規制動向に係る情報等への対応プロセス(案)」(資料21-6)を説明し、意見があれば事務局に連絡いただき、必要に応じて改訂版を現行のものに差し替えることと了承された。また、「要対応技術情報リスト(累積)」(資料21-7)の「もんじゅにおける保安規定遵守義務違反等について」は、既に国レベルの別組織で検討が行われており、技術情報検討会で扱う内容ではなくなっていることから、リストから削除することで了解された。
- (2)技術基盤グループ安全技術管理官(地震・津波担当)付より、「火山灰濃度に関する新知見について」(資料21-2)を説明し審議を行った。審議の結果、今回提示された新知見については、技術情報検討会において継続して審議するとともに、吸気設備への火山灰影響評価については、事業者側での対応をすみやかに求めるよう指示がなされた。
- (3)技術基盤グループ安全技術管理官(地震・津波担当)付より、「気象庁における藤田スケールの見直し及びその対応について」(資料21-3)を説明し審議を行った。審議の結果、「竜巻影響評価ガイド」

へ日本版改良藤田スケール(JEF スケール)による評価を追加し、ガイド改訂を速やかに行うよう指示がなされた。この改訂により、過去の最大風速の評価では、JEF スケールと従来の F スケール(藤田スケール)のうちの大きい方を取ることになる。

(4) 技術基盤グループ安全技術管理官(システム安全担当)付より、「地磁気変動のスタンダード発行の対応状況と今後の対応方針について」(資料21-4)を説明し審議を行った。審議の結果、対応方針の根拠(日本の送電システムに与える影響は少ない)に対する詳細な説明と原子力発電所内の電気設備、制御設備に関する影響についての説明がないことから、次回以降の技術情報検討会にて、再度報告することとなった。

(5) 安全規制管理官(BWR担当)付より、「志賀原子力発電所における原子炉建屋内への雨水流入について」(資料21-5)に基づいて、状況説明と今後の対応について報告があった。追加調査結果についてフォローし、次回以降継続して審議していくこととなった。

(6) その他

次回開催は、11月中旬予定。

以上